

YAMANASHI

おげん

第2回山梨県老人保健施設大会

日頃のケアの実践を発表し合う！



老人保健施設の通所サービス

第4回ソフトバレーボール大会

輝いている仲間たち！ サークル活動紹介

施設訪問記 ケアセンターいちかわ

山梨県老人保健施設大会開催

第2回

日頃のケアの実践を発表し合う！

平成10年10月28日、甲府市リバーズ和戸体育館において第2回山梨県老人保健施設大会が開催されました。

この大会は「日頃のケアの実践をお互いに発表し合い、山梨県内における施設間の交流を深め、さらにケアの向上を目指す」ことを目標としています。この日山梨県にある全施設（19施設）から197名の参加者が集まり、25の演題の発表がありました。

開会式では、白倉外茂夫研修委員長（老人保健施設つる施設長）の開会宣言に続き、島津寿宏山梨県老人保健施設協議会会長（甲州ケア・ホーム施設長）より、「介護保険制度実施に向けて、地域から信頼される老人保健施設づくりはどうあるべきかを考えていきたい」と挨拶がありました。

また、来賓として山梨県福祉保健部長寿社会課の林健課長より「介護保険制度に対してこれからの老健の活躍に期待しています」との祝辞をいただきました。

主なプログラムは島津寿宏会長の講演「老人保健施設における在宅支援」、保坂邦男相談員（甲府かわせみ苑）海外研修報告。

研究発表は「介護について」「看護について」「相談指導員について」「理学・作業療法士について」「リハビリ部会について」と、大きく五つに分かれており、参加者全員がこのすべての発表を聞く形が取られました。



島津会長の講演



熱のこもった発表がつづく

「交流や情報交換ができて良かった」

それぞれの施設が老人保健施設の趣旨を理解して取り組みをしており、創意工夫した看護、介護等を行っている様子がうかがえ、意見交換も活発に行われました。

大会終了後のアンケートの結果、研修会が有意義であったとの回答が98%を占め、この大会について、「在宅支援の視点にたった発表があり勉強になった」、「交流や情報交換できて良かった」等の意見が多く聞かれました。さらに「失敗例や困っていることも聞きたかった」、「食事を作ること

の大変さなどを栄養士さんから聞きたかった」と言った、より深い情報交換の場を求める意見も見られました。



大会役員

演題の一覧

彼のやる気に火をつける！

コミュニケーションの光と影

ケアセンターいちかわ 介護 土肥 悦子

昔なじみの生活をレクリエーションに

お裁縫「雑巾づくり」

ノイエス 介護職 雨宮 千里

痴呆性老人の生き甲斐への援助

問題行動の軽減

峡北シルバーケアホーム 介護職 平嶋みどり

生きることの本当の尊さを知る愛との出会い

入所者の立場に立った処遇をチームワークで

山梨ライフケア・ホーム 介護 厚芝 美香

ふれ愛レクリエーションを通した入所者の生きがいづくり

つる 介護人 平井 弥希

食事摂取量の観察方法の工夫

6段階方式の継時的観察

甲府南ライフケアセンター 介護 宮下 直子

好みのメニューで体重増加

ノイエス 介護職 中村 健一

水分補給の大切さについて Iさんの症例を通して

命の水

峡北シルバーケアホーム 介護職 藤原 美穂

「どお、きれいでしょ。」

女性利用者に化粧行為がもたらすもの

恵信ケアセンター 介護職員 若林 丈晃

デイケア実施時間の家族の満足度の考察

峡西老人保健センター 介護員 名取めぐみ

「おらぁうちへけえりてえよう」

自宅退所が可能になった一例

ナーシングプラザ三珠 介護職 前島 義江

檜風呂に入浴して

生活意欲が向上した一事例

NAC湯村 介護職員 赤池久美子

自立への第一歩

今日は天国の日だ

いちのみやケアセンター 介護 北爪 克治

当施設における短期入所利用の利用状況

しおかわ福寿の里 介護職 宮崎 純子

寝たきり状態から家庭復帰をされた一症例

つる 介護人 大石 牧

園芸療法を試みて

ひばり苑 介護職 河西美穂子

白癬の感染防止(第1報)

ふじ苑 介護リーダー 奥山のり子

入所者の食事介助について考える

家族の関わりを通して

峡北シルバーケアホーム 看護婦 小林 明美

依存心の強い入所者に対してのアプローチ

つる 婦長 斎藤 直子

老人保健施設に於けるリハビリテーションについて

リハビリ部会 理学療法士 藤波 靖幸

『希望やわがままをを聞かせて下さい』

誕生月の希望レクリエーションへの取り組み

峡西老人保健センター 作業療法士 原 京子

当施設デイケアにおける運営と在宅支援

平成10年4月の診療報酬改定に対応して

甲州ケア・ホーム 理学療法士 松中 稔

「こんな幼稚なこと できるかな」

高齢者の生きがい対策の一環として

甲府かわせみ苑 主任相談指導員 保坂 邦男

新聞『ノイエスだより』発行の取り組み

施設広報活動の発展のために

ノイエス 相談員 小田切千波

過疎地域における老人保健施設の役割

町と連携により、在宅生活が可能となった事例

峡南ケア・ホームいいとみ 相談員 笠井 永雄



老人保健施設の通所サービス

ご家庭で療養されているお年寄りを対象とし、健康チェック・入浴・食事・機能訓練・レクリエーションなど様々なサービスを提供し、ゆったりとした1日を過ごしていただきます。

1日の流れ



お迎え

「おはようございます！」
利用者のご希望により、ご自宅までお迎えに行きます。
施設に到着後、その日の体の調子を確認する為“健康チェック”を行います。



入浴

利用者へ合わせた入浴方法
(一般浴・介助浴・機械浴)
で、気持ちのよいお風呂に入っていただきます。
入浴時は、スタッフが見守り及び介助いたしますので、安心してゆっくり入浴できます。



昼食

「おいしい、おいしい」
栄養士による栄養管理がしっかりとされ、またバラエティーに富んだメニューで食事を楽しくいただきます。



施設により、入浴と機能訓練・レクリエーションの順番が入れ替わる場合があります。

-ビス (デイ・ケア)



機能訓練

リハビリに関する専門のスタッフが常駐しております。

レクリエーション

歌・創作活動・季節ごとの諸行事等、趣向をこらした活動内容を提供し、利用者とスタッフで楽しいひとときを過ごしていただきます。



おやつ

そろそろ今日のデイ・ケアも終わり.....
利用者同士でお茶を飲みながら楽しかった1日を振り返ります。



帰宅

「さようなら。お疲れさまでした。」
「次回のデイ・ケアをお楽しみに！」



ご利用について

- 対象者
- ・70歳以上で老人保健法医療受給者証をお持ちの方
 - ・65歳以上で重度心身障害者医療費助成制度受給者証をお持ちの方なら老人保健法医療受給者証が取得可能になります。
 - ・65歳未満でも初老期痴呆疾患（アルツハイマー病、ピック病）と診断された方なら健康保険証をもって代えられます。

上記の方で、寝たきりや虚弱、痴呆性老人等、身の回りのお世話が必要なお年寄りが対象になります。

利用料 1日1,000円程度を目安とします。



上記の、利用料及び定員は、各施設により多少異なります。

利用時間や利用可能な曜日等、詳しくは、もよりの老人保健施設にお問い合わせ下さい。

おらんとこの施設を
紹介あるじゃんけ

明るく、活力ある長寿社会
をつくるために！

JR身延線市川大門駅から徒歩で約5分、淡い紫タイル壁の丸みがあった3階建の施設が、市川大門町立病院に併設されています。

正面玄関より早速中へ入りますと、入って右側に「在宅介護支援センター」正面は「デイサービスセンター」2・3階が「老人保健施設ケアセンターいちかわ」になっています。

玄関先で職員の方に尋ねますと、この施設は保健と医療と福祉の拠点として明るく活力ある長寿社会をつくるために、在宅福祉サービスと、施設福祉サービスの連携を考えながら町が平成6・7年度で建設した「福祉保健総合ステーション」で「健康で住みよい福祉のまちづくり」を目指す複合施設だと話してくれました。

「老人保健施設ケアセンターいちかわ」は、平成8年5月8日に県内17番目にオープンした施設です。

2階の、窓を広くとった円形のレクリエーションルーム（兼食堂）は、太陽の光と四季の彩りにあふれた明るくゆとりある



空間を感じます。2・3階の療養室は明るさを充分にとった、暖かな雰囲気個室、二人室、四人室があり、全室とも窓からの景観を考えた設計で、自然のうつろいを存分に楽しめます。又、窓から眺める市川大門駅は異国情緒の漂いがあります。



健康がなによりも喜び
だれもが生き甲斐を持って安心
して暮らせるように.....

『高齢者が自宅で自立した生活が送れるように支援する。支援させて頂くという心構えを忘れないこと』の施設の方針に基づいて、人と人とを結び生き甲斐を生む新しいコミュニケーションの場になることを願って、支援していると、職員たちの笑みがとても印象的でした。

小走りに行き交う職員の姿を後に表に出たら、さわやかな秋の風にコスモスが揺れていた。



3階の、機能訓練や健康づくりのために完備された温水プール(20m x 6m)は、ドアを開けると共に驚きと素晴らしさを感じました。施設の中は、全体的に明るく家庭的な雰囲気でした。



施設の概要

施設主体	市川大門町（併設医療機関 市川大門町立病院）		
入所定員	70名（内短期入所5・痴呆加算承認施設20）		
療養室	2階	個室4室・二人室3室・四人室6室	
	3階	四人室4室	
通所定員	痴呆	二人室2室・四人室4室	
		10名	

施設紹介

山梨ライフケア・ホーム

竜王町の北西の小高い丘に医療法人の老人保健施設として1990年10月23日がホームは設立され、南東から南西方向にかけて高さ20～30mの雑木林が豊かな緑を提供しています。東南に富士山、北西に八ヶ岳、北に秩父多摩国立公園の山々を望み、様々な野鳥の訪れと共に自然の美しさを満喫することができます。

入所者、デイケアの方々全員の状態をよく把握し、きめ細かい対応を行うと共に、ADLを効率的に高めるため7つのグループを作り看・介護者が分担して受持ち、総務が全グループを統括しております。毎朝、わがホームの基本理念である「生きることの本当の尊さを知る愛との出会い」という言葉を唱和し、この言葉で清められ高揚された心で誠心誠意毎日の仕事を行っております。

入所者、デイケアの方達を対象に開催される行事の数は年毎に少しずつ増え、最近1年間では15回の行事を行っています。7月早々には「七夕」祭りをボランティア歌手を招いて盛大に行いました。8月には納涼祭を太鼓、屋台、花火等を繰り出して賑やかに開催する予定です。こうした行事には家族の方達の参加もお願いし、共に楽しむようにしております。明るく楽しく安心して入所で出来る施設であるよう職員一同日夜努力しております。



老人保健施設あさひホーム

当ホームは正面に富士山、北に八ヶ岳、西に南アルプス連峰を背に甲府盆地が一望できる田園地帯に囲まれ、近くは県公社すずらん団地に接し、特に生活の源である飲料水は甘利山頂上湧水を直導入し、原産地の武川村の武川米等を提供致しております。また、最近、地下1,200メートル石英閃緑岩の岩盤、断層破碎帯中で長い時間涵養された多様性あるミネラル成分豊かな本格的裂罅 れっか 系天然温泉の掘削に成功した。生活環境

に恵まれた施設であります。

開設 平成2年12月1日 構造 鉄筋コンクリート3階
内訳 療養室(30室100床) 家族相談室、食堂、浴室(3階展望、特殊浴、個人) 診療室、談話室、通所者用デイルーム、エレベーター。

尚、生活保護を受けている者無料。市町村民税非課税世帯者10%減免があります。

シリーズ さくひん



『かぐや姫』(ちぎり絵)

おとぎ話といえば、男の子なら桃太郎、女の子ならかぐや姫、漫画や教科書にも登場し、「学芸会」でも必ず演じられます。

大きくなったら男の子なら強い大将に、女の子ならきれいな花嫁さんになることを夢見ながら生きてこられた世代が、いま私たちの施設のデイ・ケアに通っておられる方々です。

そんな方々が、暑い夏の盛りに、涼を求め、せつせとつくりあげられたのが、仲秋の月を見

上げながら、いずれ訪れる両親との別れに思い悩むこの『かぐや姫』です。

この作品を中心になってつくられたYさんは、古代の衣装の華やかさと思い悩むかぐや姫の気持ちをどう表現すればいいのかという点に、とても苦労されたとおっしゃっています。

作成/老人保健施設 NAC湯村 通所者一同

編集後記

編集委員長 竹内 亨

山梨県老人保健施設協議会広報誌

編集・発行 山梨県老人保健施設協議会 広報委員会

事務局 〒406-0032

山梨県東八代郡石和町四日市場2031 甲州ケア・ホーム内
TEL.0552-63-0242 FAX.0552-63-2250

制作 株式会社 少国民社

甲府市丸の内二丁目7-24 TEL.0552-26-2125

● 施 ● 設 ● 紹 ● 介 ●

山梨ライフケア・ホーム

竜 王町の北西の小高い丘に医療法人の老人保健施設として1990年10月23日わがホームは設立され、南東から南西方向にかけて高さ20～30mの雑木林が豊かな緑を提供しています。東南に富士山、北西に



八ヶ岳、北に秩父多摩国立公園の山々を望み、様々な野鳥の訪れと共に自然の美しさを満喫することが出来ます。

入所者、デイケアの方々全員の状態をよく把握し、きめ細かい対応を行うと共に、ADLを効率的に高めるため7つのグループを作り看・介護者が分担して受持ち、総務が全グループを統括しております。毎朝、わがホームの基本理念である「生きることの本当の尊さを知る愛との出会い」という言葉を唱和し、この言葉で清められ高揚された心で誠心誠意毎日の仕事を行っております。

入所者、デイケアの方達を対象に開催される行事の数は年毎に少しずつ増え、最近1年間では15回の行事を行っております。7月早々には、「七夕」祭りをボランティア歌手を招いて盛大に行いました。8月には納涼祭を太鼓、屋台、花火等を繰り出して賑やかに開催しております。こうした行事には家族の方達の参加もお願いし、共に楽しむようにしております。明るく楽しく安心して入所出来る施設であるよう職員一同日夜努力しております。

あさひホーム

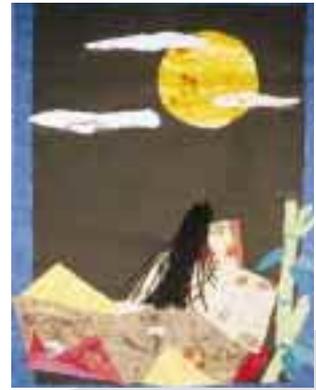


当 ホームは正面に富士山、北に八ヶ岳、西に南アルプス連峰を背に甲府盆地が一望できる田園地帯に囲まれ、近くは県公社すずらん団地に接し、特に生活の源である飲料水は甘利山頂上湧水を直導入

し、原産地の武川米等を提供致しております。また、最近、地下1,200メートル石英閃緑岩の岩盤、断層破碎帯中で長い時間涵養された多様なミネラル成分豊かな本格的裂罅系天然温泉の掘削に成功した。生活環境に恵まれた施設であります。

開設 平成2年12月1日 構造 鉄筋コンクリート3階
内訳 療養室(30室100床) 家族相談室、食堂、浴室(3階展望、特殊浴、個人) 診療室、談話室、通所者用デイルーム、エレベーター。

尚、生活保護を受けている者無料。市町村民税非課税世帯者10%減免があります。



シリーズ さくひん

『かぐや姫』(ちぎり絵)

おとぎ話といえば、男の子なら桃太郎、女の子ならかぐや姫、漫画や教科書にも登場し、「学芸会」でも必ず演じられます。

大きくなったら男の子なら強い大将に、女の子ならきれいな花嫁さんになることを夢見ながら生きてこられた世代が、いま私たちの施設のデイ・ケアに通っておられる方々です。

そんな方々が、暑い夏の盛りに、涼を求め、せつせつとくりあげられたのが、仲秋の月を見上げながら、いずれ訪れる両親との別れに思い悩むこの『かぐや姫』です。

この作品を中心になってつくられたYさんは、古代の衣装の華やかさと思悩むかぐや姫の気持ちをどう表現すればいいのかという点に、とても苦労されたとおっしゃっています。

作成 / NAC湯村 通所者一同

編集後記

若さはただそこにあるだけで他人を傷つける。それに比べ、老いはみずから責めさいなむ刃となる。病だったらまだ救われる。病は引き返す見込みがある。老いは進む一方で、その先には死が待っているだけだ。朝起きて、鏡を覗くと見知らぬ年老いた男が私を見つめ返している。鏡を見るのが嫌になる。老いを受容することは本当にせつない。そのせつなさに寄り添えるもののみが真の意味で介護者たりえるのではないだろうか。

広報委員長 川崎 光 洋

山梨県老人保健施設協議会広報誌

編集・発行 山梨県老人保健施設協議会
広報委員会

事務局 〒406-0032
山梨県東八代郡石和町四日市場2031
甲州ケア・ホーム内
TEL.0552-63-0242
FAX.0552-63-2250

制作 株式会社 少国民社
甲府市丸の内二丁目7-24
TEL.0552-26-2125